

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

### 実施報告書

1 学校名 恵那市立大井小学校

2 実施内容

#### 第4学年 総合的な学習の時間

(1) 単元名: 「横町川を探検しよう」

(2) 本時の位置: 全60時間(29/60)

(3) ねらい: 海田小学校の友達に横町川の様子を知らせるために調べたこと(水中の生き物、水質、ゴミ等)をTV会議で相手にわかるように伝えることができる。

(4) 本時の展開

観	ねらい	学 習 活 動	留意点・指導の手立て
つかむ/みつけ/ふかめる/まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV会議で自分の分担当した分をきちんと伝えるための準備ができる。</li> <li>・はっきり、わかりやすく調べたことを伝えることができる。</li> <li>・質問に対し、はきはきと答えることができる。</li> <li>・次回は、海田小学校の発表を聞くことを知る。</li> </ul>	<p>TV会議で伝える内容、相手に見せるものの確認をする。</p> <p>海田小学校についての説明を聞く。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">TV会議で横町川について調べたことをわかりやすく伝えよう。</div> <p>大井小学校と横町川について川を探検するようになった理由</p> <p>カワゲラウォッチング</p> <p>下流探検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのグループが終わったところで質問や感想を聞く。</li> </ul> <p>阿木川との合流地点までの探検について</p> <p>上流探検</p> <p>これからやってみいたいこと</p> <p>すべての発表のあとに質問や感想を聞く。</p> <p>次回は海田小学校の子たちが近くの川について調べたことの発表を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にはっきり、わかりやすく伝えるために自分の話す分の練習をし、話す位置を再度確認する。</li> <li>・自分の声の伝わり方を確かめ、ゆっくり、はっきり話すようにさせる。</li> <li>・手に持って説明するものについては台の上に固定させるようにする。</li> <li>・一方的な説明だけに終わらないように質疑応答の時間を確保する。</li> <li>・次のTV会議への意欲を高めさせるような投げかけを相手にしてもらおう。</li> </ul>

3 実施時期 7月17日(水) 第2校時

4 成果と課題

相手に伝えるという機会を与えられたことによって

自分たちの活動してきたことをまとめ、次に何をしたらよいかという目標を持つことができた。

学年でグループを分け、どんな形で伝えるのか協力して話し合い、いろいろな発表形式を考え出すことができた。

当日は相手の反応も確かめながらいねいに話そうという意識が感じられた。

同じ学年の先生と単元の出口をお互いが納得するまで話し合い、そのために現段階ではどのような発表にするとよいか決めるべきであった。

5 今後の方向

こちらの川についての発表を聞き、今後の参考にするということがあったが、TV会議のメリットを生かせる方向をより明確にして行かなくてはならないと感じた。また、音質の面でクリアに聞こえるよう改善策を考えていかなければならない。